

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

「基本情報技術者試験 平成29年度春期試験」の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、4月16日(日)に実施された「基本情報技術者試験 平成29年度春期試験」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の春期試験の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近2回分(平成28年度春期試験、秋期試験)の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	H28 春 出題数	H28 秋 出題数	H29 春 出題数
テクノロジー系	基礎理論	10 問	10 問	9 問
	コンピュータシステム	14 問	14 問	13 問
	技術要素	21 問	21 問	23 問
	開発技術	5 問	5 問	5 問
	小計	50 問	50 問	50 問
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	4 問	4 問	4 問
	サービスマネジメント	7 問	6 問	6 問
	小計	11 問	10 問	10 問
ストラテジ系	システム戦略	5 問	6 問	7 問
	経営戦略	8 問	6 問	8 問
	企業と法務	6 問	8 問	5 問
	小計	19 問	20 問	20 問
	全合計	80 問	80 問	80 問

●問題形式別

テキスト内の解説の有無	H28 春 出題数	H28 秋 出題数	H29 春 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	36 問 (45%)	35 問 (44%)	36 問 (45%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	32 問 (40%)	25 問 (31%)	32 問 (40%)
計算(数値や計算式を求める問題)	9 問 (11%)	17 問 (21%)	10 問 (12%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	3 問 (4%)	3 問 (4%)	2 問 (3%)
合計	80 問 (100%)	80 問 (100%)	80 問 (100%)

※問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の春期試験の午後問題で出題された取り扱いテーマは、次のとおりです。

午後試験の分野		選択/必須	H29 春 出題テーマ
情報セキュリティ		必須	ファイルの安全な受渡し
コンピュータシステム	ハードウェア	6 問中 4 問選択	温度モニタ
	ソフトウェア		(出題なし)
	データベース		住民からの問合せに回答するためのデータベース
	ネットワーク		無線 LAN におけるデータの送信
ソフトウェア設計			購買システムにおける注文書出力処理
マネジメント	プロジェクトマネジメント		プロジェクトの要員計画
	サービスマネジメント	(出題なし)	
ストラテジ	システム戦略	在庫補充方法の変更	
	経営戦略・企業と法務	(出題なし)	
データ構造及びアルゴリズム		必須	最短経路の探索
ソフトウェア開発	C	5 問中 1 問選択	マーク式試験の答案の採点
	COBOL		売上集計
	Java		電気料金プランの比較
	アセンブラ		多倍長演算(64ビット加算、32ビット乗算)
	表計算		宅配便の料金計算

3. 問題分析

今回の春期試験は、午前問題・午後問題ともに、例年並みの標準的な難易度でした。平成 22 年度以降、難易度は安定した状態が続いています。

【午前問題】

カテゴリで見ると、「技術要素」(大分類)からの出題が 23 問と突出して多くなっています。中でも、「セキュリティ」(中分類)から 10 問が出題されています。具体的には、「ブルートフォース攻撃」「ディレクトリトラバーサル」「DNS キャッシュポイズニング」などの攻撃手法や、「SMTP-AUTH」「RSA」「タイムスタンプサービス」などの防御対策が出題されました。今後もセキュリティ分野から高い比重で出題されることが予想されるので、最新の情報収集が必要です。

また、過去問題からの流用が 36 問(全体の 45%)と、非常に多くなっているため、過去問題対策は必須です。

2016 年 5 月に改訂されたシラバス Ver4.0 で追加された新出用語からは「スケールアウト」「OpenFlow」「SDN」「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」「BYOD」が出題されています。

なお、シラバスに記載されていない内容として、「ひずみゲージ」「ソートマージ結合法」「ファシリテータ」「ポートスキナ」などが新しい問題として出題されています。

【午後問題】

必須問題「情報セキュリティ」では、ファイルの安全な受け渡しについて出題されました。公開鍵暗号方式や共通鍵暗号方式のしくみを正しく理解していれば、確実に解答を導き出せる易しい問題でした。

また、もうひとつの必須問題「データ構造及びアルゴリズム」では、アローダイアグラムから最短経路を探索するプログラムが出題されました。二次元配列でデータを取り扱っており、これを読み解くのに苦戦した受験者が多かったと思われます。難易度が高い問題といえます。

「ハードウェア」「データベース」「ネットワーク」「ソフトウェア設計」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」からの選択問題は、選択する問題によっては難易度にばらつきがある印象でした。「データベース」では CREATE TABLE 文、「ネットワーク」では難しい計算問題が出題されており、例年より手強い問題といえます。

「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」「表計算」からの選択問題は、いずれも標準的な難易度で、問題間のレベル差はほとんどありませんでした。いずれも前半は解きやすい問題、後半はやや難しい問題で構成されていました。

4. 試験動向

新試験に移行した平成 21 年度(2009 年度)以降、応募者は減少傾向になっていましたが、近年は下げ止まり、やや増加傾向となっています。

平成 28 年度春期試験は、九州地区の試験中止により、応募者数が減少しています。

年度	春期	秋期	年間
平成 21 年度	90,752 名	107,800 名	198,552 名
平成 22 年度	92,108 名	100,113 名	192,221 名
平成 23 年度	88,001 名	82,090 名	170,091 名
平成 24 年度	75,085 名	79,674 名	154,759 名
平成 25 年度	66,667 名	76,020 名	142,687 名
平成 26 年度	65,141 名	74,577 名	139,718 名
平成 27 年度	65,570 名	73,221 名	138,791 名
平成 28 年度	61,281 名	75,095 名	136,376 名
平成 29 年度	67,784 名	—	67,784 名 (上期計)

5. 今後の教材ラインナップと提供予定

当社の「基本情報技術者試験」教材のラインナップ(発売中)は、次のとおりです。

No.	教材名	型番 価格(税別)	説明
1	基本情報技術者試験 対策テキスト 平成 29-30 年度版	FPT1615 2,200 円	シラバス(Ver4.0)にそって必要な知識を解説する教科書。 出題範囲の体系的な学習に最適。 ※「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」「表計算」の解説は収録していません。
2	基本情報技術者試験 直前対策 2 週間完全プログラム シラバス Ver4.0 準拠	FPT1623 1,500 円	シラバス(Ver4.0)に記載されている用語から、試験頻出の用語を厳選して、解説した用語集。 携帯に便利なポケットサイズ。添付のカラーフィルムを重ねて、重要用語を効率よく覚えらる。

※詳しくは、<http://www.fom.fujitsu.com/goods/joho/index.html> をご覧ください。

以上